



短いからこそ大切に

今日で2学期が終わり、明日からみなさんが楽しみにしているであろう冬休みが始まります。これまで、大きな事故や災害に遭うことなく、終業式を迎えられたことを、みなさんとともに喜びたいと思います。

さて、2学期の始業式で、私はこんなことを呼びかけました。「コロナが我々の身の回りにあることはしかたないこととして、みんなで知恵を出し合い、自分たちにプラスとして身につくものを探し、苦難を乗り越えて一生懸命考えることが大切です。そして、それは必ず大人になって役に立ちます。自分の思い通りにならない状況であっても、自分にとっての最善を尽くすことができれば、必ず道は開けます。」そんなことを言いました。みなさんは、2学期を振り返ってどうでしたか？最善を尽くすことはできましたか？自分なりの成果はどんなことですか？ぜひ、そういったことを整理して、冬休みや3学期に備えてください。

冬休みは、2週間しかありません。だからこそ、毎日を大切に過ごしてください。冬休みのしおりの中にある計画や目標は、きちんと書いていますか。規則正しい生活リズムの中で、勉強や部活動、年末年始のおうちの手伝いなど、やるべきことを確実に実行してください。特に3年生は、1月に入るとすぐに、私立高校の入試が始まります。入試は、特別な場面です。特別な場面で特別にきちんとできることは、当たり前のこと。これは、ある高校の先生がおっしゃっていたことです。そのためには、普段からきちんとしておかなければ、そのときだけ特別にきちんとすることなどできません。勉強はもちろんですが、行動面でも合格につながるような行動をしてください。3年生はもちろんですが、1・2年生のみなさんも、3年生が合格できるように様々な面で協力してあげてください。そのことが、やがて1年後、2年後の自分に返ってきます。

最後に、お願いします。新型コロナウイルスの新規感染者数は、一時期と比べると減っていますが、決して油断はできません。新しい変異株のこともありますし、年末年始は人の流れも多くなります。手洗いや消毒、部屋の換気など、これまで同様の感染対策を行ってください。また、不要不急の外出はやめ、大勢の人が集まる場所や普段行かないところへの外出も慎重にしてください。一人一人が、自分の命や家族・大切な人の命を守る行動を取って、1月11日の始業式に、元気に登校できることを願っています。

<2学期終業式 式辞より>

<おうちの方へ>

本日、無事に終業式を迎えることができました。これも、保護者の皆様のご理解、ご協力があったことと、教職員一同、深く感謝しております。ありがとうございます。また、期末懇談やアンケートへのご協力も、重ねてお礼申し上げます。明日からの冬休み、生徒たちが健康で、家族の一員としての役割を果たしながら有意義な休みを過ごしてくれることを願っております。各ご家庭におかれましては、新型コロナウイルスやインフルエンザ等への対策を十分にいただき、どうぞよいお年をお迎えください。そして、冬休みや3学期も、よろしく願いいたします。

【お詫びと訂正】

12月15日配布の学校通信「希望が丘 第33号」の文中で、本校陸上部顧問尾藤先生の名前の文字を「尾藤」と間違えて記述していました。正しくは、「くさかんむり」の「藤」です。深くお詫びいたしますとともに、謹んで訂正させていただきます。なお、ホームページにアップした通信は、訂正済みのものであることを申し添えます。